

令和3年度第2回 優良品種・技術評価委員会 議事概要

日時：令和4年2月3日(木) 14:00～16:00

方法：オンライン開催(Microsoft Teams 使用)

出席した委員(五十音順、*:委員長)

石栗 太、今泉 裕治*、大森 龍一、齋藤 正、高橋 誠、蓬田 英俊

事務局

倉本 哲嗣、山野邊 太郎

議事概要

・申請のあった品種の評価について

マツノザイセンチュウ抵抗性アカマツ品種として2系統(林木育種センターと東京大学千葉演習林の共同申請が2系統) およびマツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ品種として12系統(林木育種センター東北育種場の申請が3系統ならびに林木育種センター関西育種場の申請が9系統)の合計14系統の申請があり、これらの申請内容について検討がなされた。いずれの申請系統も品種評価基準を満たしており、申請のあったすべての系統が優良品種として評価された。

なお、委員から、西日本において第2世代のマツノザイセンチュウ抵抗性品種の評点が非常に低く、遺伝的改良が着実に進んでいることが窺える点について講評があった。

以上